

一般質問

2月定例会では、2月27日から3月5日までの5日間にわたって、会派代表質問(6人)及び個人質問(12人)が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回の質問では会派、議員ごとに1項目から2項目ずつ計24項目を掲載しています。

(会派代表質問)

市民クラブ

田上市政2年間の評価と課題を受けての今後の具体的取り組みについて

問 今年市長1期目の折り返しの年であり、政治方針を具現化していく年である。市長はこれまでの市政運営を総括した上で、評価と課題を受けての具体的な取り組みについて示してもらいたい。

答 九州新幹線西九州ルートの整備に向けて長崎駅周辺のまちづくりが具体化するなど、長年の懸案事項が大きく前進したと思っている。今後は、个性的で、暮らしやすいまちを、みんなでつくるという本市が目指すべき方向性を引き続き前進させていきたい。

平和市長会議、地球市民集会、核不拡散条約(NPT)再検討会議など一連の平和行政の取り組みに対する決意について

問 今年8月に平和市長会議総会、来年2月に地球市民集会が本市でそれぞれ開催され、NPT再検討会議も来年ニューヨークで開催されることになっている。一連の核廃絶への取り組みに対する市長の決意を伺いたい。

答 これらの会議は、被爆地から核兵器廃絶の新しい流れを生み出していく絶好の機会であり、成功に向けて全力を尽くして行きたい。核兵器廃絶を求めるメッセージを全世界に発信して、NPT再検討会議でのアピール活動につなげていきたい。

自由民主党

被爆体験者支援事業について

問 被爆体験者支援事業については、国への改善要望の結果、平成21年度に認定基準等の事業の見直しがどのように行われるのか、また、今後のスケジュールについて具体的に示してもらいたい。

答 被爆体験の記憶の有無にかかわらず事業の対象とし、更新診断は毎年から3年に1回、新疾患を発症した場合に更新時に限らず随時追加認定するという見直しが行われた。今後は、4月から新方針による事業を開始したい。

長崎水害緊急ダム事業に係る浦上ダム問題について

問 浦上川の治水対策を図るための雪浦第二ダム建設事業について、地元新聞に建設中止の記事が掲載され、県知事の記者会見等により建設中止の方針が決定している感がある。雪浦第二ダムの建設を中止し、浦上ダムの再開となったのはなぜか。

答 浦上ダムに水を溜めたまままで施工することで工事中の水道水源の確保が可能となり、治水と利水に必要な容量の確保が見込めることなどの理由により、浦上ダム単独で、利水機能を確保して治水化することが可能となったとの説明を県から受けている。



浦上ダム

自民明政クラブ

病院事業の将来展望について

問 新市立病院の運営体制については、地方独立行政法人を目指して検討することであるが、職員の身分は公務員型か非公務員型か、また、行革のシミュレーションをしたかと思うが、どのような効果があるか示してほしい。

答 諸条件により非公務員型しか選択できない。また、人材確保を初め経営全般に関してより柔軟な対応が可能になるので、住民サービスが向上し、費用対効果の観点から行政改革上の効果も十分期待できると考えている。



新市立病院イメージ図

予算編成の視点から見た財政運営と投資的経費の確保について

問 本年度は、国による経済対策により投資的経費も増額されているが、毎年、一定規模の投資事業を確保することが、雇用の維持、確保の面からも、また、地域活性化に最も有効と考えるが見解を伺いたい。

答 投資事業は、直接的な経済波及効果にとどまらず、地域活性化にも大きく寄与するので、今後とも一定の事業量確保に努めるとともに、ソフト事業も組み合わせながら、魅力あるまちづくりと活性化に努めていきたい。

公明党

地籍調査の実施について

問 将来を見据えたまちづくりの観点、土地の有効活用や各種公共事業の効率化・コスト削減、さらには土地境界を巡るトラブルの未然防止のためにも、地籍調査の実施が必要である。本市においてはいつから着手するのか。

答 地籍調査は完了までに長期間を要し、多額の費用と一定の人員体制を確保しなければならぬなどの課題があるが、重要かつ有効な事業であると認識しており、できるだけ早期に着手できるように引き続き検討していきたい。

成年後見制度の現状と今後の取り組みについて

問 判断能力が不十分な高齢者が、自ら契約できないため、当然の権利としての介護サービスを受けることができ

ないという問題が出てきている。本市における成年後見制度の利用状況及び普及促進、市民後見人の育成等について示してほしい。

答 平成13年度から成年後見制度利用支援事業を実施し、23件の相談があり、今までに市として7件の後見人選任等の申し立てを行った。平成21年度から検討会を開催し、市民後見人の活用を含めた同制度の利用推進と普及啓発について検討していきたい。

日本共産党

後期高齢者医療保険料未納者への対応について

問 保険料未納者に対し、保険証交付のかわりに資格証明書を交付できることになっているが、どのような状況であれば保険証を必ず交付すべきである。市としてどのように対応する考えか。

答 資格証明書の発行については機械的に判断することなく、慎重に適用すべきであると考え、高齢者の地理的な事情や体力的な問題を踏まえ、訪問徴収等を実施しながら状況把握に取り組んでいる。

長崎駅周辺再整備事業の考え方について

問 長崎駅周辺を再整備し、J・R立体高架化や駅舎の移動など、長崎新幹線開通後を見据えた計画にもなっているが、古くからの浜町商店街や近隣商店街が寂れていくのではないか。駅周辺だけが発展するようなまちづくりは見直すべきである。

答 長崎駅周辺地区は国際観光文化都市・長崎の玄関口として、まちなかは多様な都市機能が集積したにぎわいと歴史・文化の中心として、それぞれの地区が持つ強みを最大限に生かし個性的なまちをつくることを目指している。



長崎駅周辺地区整備イメージ

長崎市民会議

旧県立長崎南商業高校の跡地活用について

問 県においては地方機関の再編に伴う活用策がなくなり白紙の状態に戻ったとのことだが、市の方から県に働きかけ、積極的に活用策を提案して県と

交渉すべきと思う。市として跡地活用をどのように考えているのか。

答 県は現在、企業誘致候補地として検討しているとのことであるが、市としても今後、地元の皆様の想いを受け止め、地域の活性化につながるような跡地活用策について、積極的に県と協議を進めていきたいと考えている。



旧県立長崎南商業高校跡地

ごみ収集業務の民間委託の推進について

問 ごみ収集業務の民間委託により職員数はどの程度減員でき、経済効果はどの程度であるか。また、次期第五次行政改革大綱の策定に当たって同業務の民間委託についてどのような考え方で臨もうとしているか。

答 平成17年度と比べて、平成20年4月1日時点で126人削減し、平成20年度は約6億円の経費削減を見込んでいる。第五次行政改革大綱においても、これまでの改革を検証の上、さらなる民間委託推進を検討していきたい。

(個人質問)

市民クラブ

ハートセンター送迎バスの配置について

問 施設開設以来、デイサービス事業の一環として運行していた送迎バスが平成18年度の障害者自立支援法による制度変更で、送迎の加算措置がなくなったことにより廃止された。事業団による送迎バスの配置が考えられないか。

答 送迎サービスを利用できないためにセンターでの機能訓練に来所できない方がおられる現状もあり、今後、利用者や障害団体等からの意見や要望を伺いながら、送迎サービスの提供が可能になるよう取り組んでいきたい。



もりまちハートセンター

市有建築物の工事関係書類の保存のあり方について

問 工事施工計画書の保存期間は現在5年ということであるが、市有建築物の危機管理の面から、その施設には残

しておくことが必要と考えるが、そういう措置が考えられないか伺いたい。

答 新築、増改築、大規模改修等を行った施設の工事関係書類のうち、特に長期保存を行っていた文書は、これまでどおり建築課で保存し、施工計画書を含むその他の書類についても、今後は保存年限を長期に設定し、当該施設などに保存していきたい。

子ども基金について

問 平成20年度から創設した子ども基金は年間の寄附金額500万円を目標にして取り組まれたはずだが、現在の実績は、寄附件数11件、総額6万4,400円で、目標にはほど遠い状況である。なぜこのように低調な取り組み結果になったのか伺いたい。

答 目的がはっきりせず、具体的用途が決まっていない、また、寄附者が用途を決められない等の指摘を受けている。今後は、寄附者の気持ちに直接、子どもたちに届けられるような新事業のメニューをつくり上げ、積極的にアピールしていきたい。



子ども基金チラシ

自由民主党

須浜地区の公衆トイレの設置について

問 昨年7月に三和地区で開催された市長との地域懇談会で為石小学校区の連合自治会から、須浜地区の公衆トイレ設置の要望がなされたが、その後の検討状況、設置の目途があるのか伺いたい。

答 同懇談会において、地区のイベントに多くの住民が集まるのにトイレがなく困っているのご意見をいただき、その必要性は認識している。平成22年度に供用開始予定である下水道の整備にあわせて設置していきたい。

観光振興について

問 亀山社中に向かう観光客の受け入れ態勢の問題として、寺町通りに非常に古い公衆トイレが設置してある。このトイレの移設あるいは建て替えについて現在検討していると伺っているが、その進捗状況について伺いたい。

答 来年1月から大河ドラマ「龍馬伝」の放送が決定し、寺町かいわいは多くの人が訪れると予想しており、公衆トイレを隣接地に移設することで利用者の利便性を図ることができないか、

関係部局と配置や構造等について協議を進めている。



寺町通りにある公衆トイレ

公明党

住宅地や通学路等での有害鳥獣対策について

問 シカやイノシシによる田畑や住宅地での被害が近年増加しており、早急に手を打たなければ地域住民の生命と財産を守ることはできない。市として現在どのような有害鳥獣被害防止対策を講じているのか、また、今後の対策を示してもらいたい。

答 猟友会への捕獲委託、電気牧さく本体や侵入防止ネット貸与などさまざまな対策を講じている。人とのす



忍び返し付きワイヤーメッシュ柵

み分けを明確にすることが重要であり、今後、住居等に近づけないよう、忍び返し付きワイヤーメッシュ柵の設置を進めていきたいと考えている。

難聴地域における防災行政無線の現状と取り組みについて

問 難聴地域改善の調整の際に、気象条件等が悪い状態を想定して改善調整を行っているのか。また、難聴地域改善策として防災ラジオ導入や、そのモニタリングについてどう考えているのか伺いたい。

答 気象条件を考慮した試験放送は行っていないが、市民の皆さんから聞き取りにくいとの指摘があった場合はできるだけ早期に現地調査を行い対応している。防災ラジオは受注生産であり、今後、市民の意向調査を行いたい。



日本共産党

放課後児童健全育成事業の設置運営基準の考え方について

問 放課後児童クラブについて、市の設置運営基準に対する考え方、また、市内の児童クラブにおける指導員の実態、労働条件や配置状況などについて市はどういう認識をしているのか。

答 市としては国のガイドラインや県の基準を踏まえ、必要とする人が等しくサービスを受けられる環境を整えていきたいと考えている。また、他都市

の指導員配置基準を参考に市内の実態も考慮しながら、本市の指導員配置基準を定めたいと考えている。



放課後児童クラブ

長崎市民会議

被爆二世対策について

問 被爆者援護に関しては、国の施策に基づき、市としても積極的な対処がなされてきたが、被爆二世に関する市の行政課題として何が残されていると認識し、どのような方法で改善と解決を図ろうとしているのか伺いたい。

答 原爆放射線の身体的、遺伝的な影響の解明と被爆二世健康診断にがん検診を加えることが課題と考える。これらは、被爆者対策と同様に国の責任において解決されるべきと考えており、引き続き国に要望していきたい。

気走会

小中学校校庭の芝生化について

問 子どもたちが毎日緑の芝生の上を走り回ったり、転げ回ったりして、大声を上げて嬉々として戯れることで、心も体もたくましく成長するものと確信している。小中学校校庭の芝生化を進める考えはないか伺いたい。

答 平成21年度は松山陸上競技場において芝生化チャレンジ事業を計画しており、同事業における維持管理の方法、地域の協力的体制等の検証状況を見極めながら、校庭の芝生化導入について検討していきたい。

草の根クラブ

フリーゲージトレインの山陽新幹線への直通乗り入れの可能性について

問 フリーゲージトレインは車両の軽量化と高速化が課題で残されており、併せてJR西日本が山陽新幹線への直通接乗り入れを受け入れるのかどうか最大の難題と理解している。乗り入れの可能性について見解を伺いたい。

答 早期の実用化を目指し車両の改良が鋭意行われており、西九州ルート

の開設までには、車両の課題は解決され実用化されるものと考えている。山陽新幹線への直接乗り入れについては、まだ具体的な協議ができる段階ではない。



フリーゲージトレイン(2次試験車両)

国民新自由クラブ

平和公園松山登り口からの動く歩道の設置について

問 松山から平和祈念像へ向かう長い階段は、お年寄りや体が不自由な方にとっては上り下りが大変であり、雨の日や特に夏の暑い時期の移動を考えると動く歩道は不可欠である。設置の実現に向けての見解を伺いたい。

答 動く歩道等の垂直方向への移動手段整備については、財政的課題もあるが、現在進めている祈念像地区と中心地区を結ぶ歩道整備の進捗状況を見ながら、また関係者の意見も伺いながら検討を進めていきたい。



平和公園入口の階段